

日本国特許庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application:

2000年 3月31日

出願番号  
Application Number:

特願2000-098292

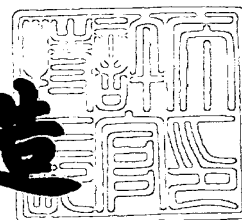
出願人  
Applicant(s):

コニカ株式会社

2000年11月 6日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3090538

4603

【書類名】 特許願  
 【整理番号】 DZZ00342  
 【あて先】 特許庁長官殿  
 【国際特許分類】 G06F 1/00  
 G06F 3/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都日野市さくら町 1 番地 コニカ株式会社内  
 【氏名】 岩垣 賢

【発明者】

【住所又は居所】 東京都日野市さくら町 1 番地 コニカ株式会社内  
 【氏名】 松坂 昌司

【特許出願人】

【識別番号】 000001270  
 【氏名又は名称】 コニカ株式会社  
 【代表者】 植松 富司

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012265  
 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1  
 【物件名】 図面 1  
 【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像送信サービス

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 撮影済み写真フィルムを現像処理した後に該現像処理された写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像を電子画像へ変換する変換手段、該変換手段により変換された電子画像を蓄積する蓄積手段、前記電子画像を通信手段を用いて顧客へ送信する送信手段、及び顧客情報入力手段を有する電子画像送信サービスであって、顧客が前記電子画像送信サービスを受けるか否かを選択した結果を前記顧客情報入力手段に入力し、顧客が前記電子画像送信サービスを受ける場合、該顧客が指定した受信先に前記電子画像を送信することを特徴とする電子画像送信サービス。

【請求項 2】 顧客が指定した受信先に前記電子画像を送信する際に、電子画像送信サービスに関する情報を付与することを特徴とする請求項 1 に記載の電子画像送信サービス。

【請求項 3】 顧客が指定した受信先に前記電子画像を送信する際に、付加情報を付与することを特徴とする請求項 1 又は 2 の何れか 1 項に記載の電子画像送信サービス。

【請求項 4】 顧客から前記電子画像の蓄積の拒否又は蓄積の解消の申し出を受けた際、又は任意に設定された一定期間を経過した際に前記蓄積手段に蓄積された電子画像を消去することを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れか 1 項に記載の電子画像送信サービス。

【請求項 5】 撮影済み写真フィルムを現像処理した後に該現像処理された写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像を電子画像へ変換する変換手段、該変換手段により変換された電子画像を蓄積する蓄積手段、前記電子画像を通信手段を用いて顧客へ送信する送信手段、及び顧客情報入力手段を有する電子画像送信サービスであって、前記写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像を電子画像へ変換する際に、画像検索又は画像認識ソフトを用いて写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像を認識し、該認識された写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像に応じて付加情報を選択

し、顧客の指定する受信先に電子画像情報及び選択された付加情報を送信することを特徴とする電子画像送信サービス。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、現像処理済のネガフィルム、リバーサルフィルム又はプリントを電子画像へ変換し、該電子画像を顧客が指定する受信先に送信するサービスに関する。

【0002】

【従来技術】

従来、顧客の撮影済写真フィルムは、受付所を経由して現像所にて現像、プリントされ、ネガとプリントが顧客に渡されていた。

【0003】

現像処理済ネガフィルムをスキャナー読みとりして電子画像データとしCD等  
に書き込んで顧客に渡すシステムがある。

【0004】

更に、スキャナー読みとりした電子画像データをインターネット上の特定サイトに展示し閲覧できるシステムが存在する。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

旧来の同時プリント方式では、ネガフィルムとプリントは得られるが、電子画像を欲しい場合は、自分で読み取り装置を購入して実施するか、現像所に依頼して電子画像データをCD等のメディアに書き込んでもらう必要があった。いずれも、費用がかかり、また電子画像データを利用するための操作が煩雑であった。

【0006】

また、顧客の友人、知人、親戚等の関係者は、顧客の撮影した写真プリントを入手したい場合に、顧客に依頼して焼き増し注文をしてもらう必要があり煩雑であった。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明の課題は、

(1) 撮影済み写真フィルムを現像処理した後に該現像処理された写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像を電子画像へ変換する変換手段、該変換手段により変換された電子画像を蓄積する蓄積手段、前記電子画像を通信手段を用いて顧客へ送信する送信手段、及び顧客情報入力手段を有する電子画像送信サービスであって、顧客が前記電子画像送信サービスを受けるか否かを選択した結果を前記顧客情報入力手段に入力し、顧客が前記電子画像送信サービスを受ける場合、該顧客が指定した受信先に前記電子画像を送信することを特徴とする電子画像送信サービス、

(2) 顧客が指定した受信先に前記電子画像を送信する際に、電子画像送信サービスに関する情報を付与することを特徴とする(1)に記載の電子画像送信サービス、

(3) 顧客が指定した受信先に前記電子画像を送信する際に、付加情報を付与することを特徴とする(1)又は(2)の何れか1項に記載の電子画像送信サービス、

(4) 顧客から前記電子画像の蓄積の拒否又は蓄積の解消の申し出を受けた際、又は任意に設定された一定期間を経過した際に前記蓄積手段に蓄積された電子画像を消去することを特徴とする(1)～(3)の何れか1項に記載の電子画像送信サービス、

(5) 撮影済み写真フィルムを現像処理した後に該現像処理された写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像を電子画像へ変換する変換手段、該変換手段により変換された電子画像を蓄積する蓄積手段、前記電子画像を通信手段を用いて顧客へ送信する送信手段、及び顧客情報入力手段を有する電子画像送信サービスであって、前記写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像を電子画像へ変換する際に、画像検索又は画像認識ソフトを用いて写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像を認識し、該認識された写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像に応じて付加情報を選択し、顧客の指定する受信先に電子画像情報及び選択された付加情報を送信することを特徴とす

る電子画像送信サービス、  
によって解決できる。

【0008】

【発明の実施の形態】

以下に本発明の画像送信サービスを詳しく説明する。

【0009】

図1は、本発明における電子画像送信サービスの概要である。

【0010】

顧客から現像処理の依頼を受ける際、顧客から受けた住所、氏名、連絡先を入力手段1により入力する。その際に顧客は電子画像送信サービスを受けるか否かの選択した結果も入力手段1に入力される。顧客が電子画像送信サービスを受ける場合には顧客は電子画像の受信先を指定する。指定された受信先は入力手段1に入力される。

【0011】

顧客が電子画像送信サービスを受けることを選択すると、現像処理された写真フィルム又は該フィルムからのプリント6の画像を変換手段2を用いて電子画像へ変換される。

【0012】

変換された電子画像は蓄積手段3に蓄積される。蓄積された電子画像は、送信手段7により通信手段5を通じて顧客が指定した受信先4へ送信される。

【0013】

送信される電子画像は、図1に示すようなインデックス方式や図2に示すような1つの画像毎に送信される。

【0014】

本発明において、現像処理とは、一般的に行われているカラー現像処理、白黒現像処理でもよく、また、現像処理の工程のうち漂白工程、又は定着工程、乾燥工程など現像処理に係る工程の一部を省略した現像処理であっても良い。

【0015】

本発明において現像処理された写真フィルム又は該写真フィルムからのプリン

トの画像を電子画像へ変換する手段とは、写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像を電子画像へ変換できる手段で有れば特に限定はなく、具体的には写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像をスキャナーで読み込み、該画像を電子画像へ変換する手段が好ましく用いられる。

【0016】

本発明において、電子画像蓄積する蓄積手段としては、ネットワーク上のサーバー、パーソナルコンピュータのハードディスク、磁気ディスク、光ディスク等の記録媒体のいずれであってもよく、ネットワーク上のサーバーを利用することが特に好ましい。

【0017】

本発明において、通信手段とは、無線通信、衛星通信、光通信、電話回線を用いた通信及びケーブルテレビ回線を用いた通信等いずれを用いても良い。

【0018】

本発明において、送信手段とは、通信手段を通じて顧客の指定する受信先に送信することができる手段を有しているもので有ればよく、例えばパーソナルコンピュータのメールソフトなどが該当する。

【0019】

本発明において顧客情報入力手段とは、店頭で、または集配所で受け付けの際、顧客の情報を入力できる端末であればよい。

【0020】

具体的な入力作業としては、顧客が撮影済みの写真フィルムの現像処理を依頼する際に、電子画像送信サービスを受けるか否かを選択し、店員又は集配所の受付員は、該選択結果と顧客情報（例えば住所、氏名、電話番号、電子メールアドレスなど）を入力手段により入力する。また、一度入力手段により入力された顧客情報は、蓄積手段に蓄積されることが好ましい。顧客情報が蓄積されることにより、2度目以降の来店時には住所、氏名などが既に登録されているため再び情報を入力する手間が省けることとなる。

【0021】

顧客が、電子画像送信サービスを受けることを選択した場合、顧客が指定する

受信先に電子画像を送信する。顧客が指定する受信先は、1カ所であっても複数ヶ所であっても良い。受信先は顧客の自宅のコンピューター端末、顧客の勤務先のコンピューター端末、知人、友人または親戚等のコンピューター端末等でもよく、また、電子画像が受信可能な携帯電話、モバイル端末等、電子画像を受信できればよく特に限定されない。

#### 【0022】

受付された撮影済写真フィルムは、現像処理され、顧客が電子画像送信サービスを希望する場合は更に写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントをスキャナー等で読み込み、電子画像に変換され、蓄積手段に蓄積される。

#### 【0023】

蓄積された電子画像は入力された顧客情報に基づき送信手段によって顧客の指定した受信先に電子画像を送信する。

送信される電子画像は、受信して閲覧する場合に1画面に複数枚の画像が表示される形式、いわゆるインデックス方式（図1参照）でも、電子画像1枚1枚を個々に送信する方式（図2参照）でも良い。顧客が指定する受信先がパーソナルコンピュータのように画面が大きい場合は、インデックス方式であることが好ましく、画像受信が可能な携帯電話など画面が小さい場合には個々に送信する方式が好ましい。顧客は送信方式を選択することが可能である。

#### 【0024】

電子画像を顧客の指定した受信先に送付するに当たって、前記電子画像以外の情報として、電子画像送信サービスに関する情報を同時に送信することができる。

#### 【0025】

電子画像送信サービスに関する情報としては、電子画像の大きさ（例えば画像容量（バイト））、電子画像の方式（例えばJPG、TIFF、JIFF、BMP、PSD等）、電子画像送信サービスの料金、焼き増し注文料金、焼き増し注文方法、焼き増しプリントの仕様（例えばプリントサイズ、プリントの面質、セピア調などの特殊プリント、シールプリント、カレンダータイプ等）、注文票等がある。注文票には予め顧客情報が入力されたものを送信することができる。注



文票に予め顧客情報を入力することによって、顧客が注文票に予め記録されている情報を確認するだけで改めて認証をする必要がないという長所を有する。これによって、従来のような、インターネット上での認証において、IDコードやパスワードの入力等の非常に面倒な操作が必要なくなり、したがって、顧客が該注文票にて注文する場合は面倒な顧客情報を記入する必要が無く、簡便に注文することができる。

## 【0026】

前記、画像情報以外の情報は、電子画像送信において電子画像とは別のメール文章として送信しても良いし、インデックス方式の電子画像に対して添付されてもよく、また個々の電子画像に対して添付されていても良い。

## 【0027】

また、電子画像送信サービスに関する情報以外にも、付加情報を添付することができる。付加情報とは、例えば企業広告、イベント情報等が挙げられる。

## 【0028】

本発明において付加情報を添付する場合においては、顧客の撮影した画像の内容に応じた及び／又は顧客情報に応じた企業広告、イベント情報を添付することによって企業広告の効果が上がり、また、イベント情報も有効に活用され好ましい。

## 【0029】

顧客の撮影した画像の内容の認識は、現像済の写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像をスキャナーなどで読み込む際に画像検索又は画像認識ソフトを用いて容易に認識でき、該認識されたフィルムの内容に応じて、好ましくは更に顧客情報も加味して自動的に企業広告やイベント情報が選択されることが好ましい。

## 【0030】

例えば、顧客の撮影した内容が釣りに関するものが多いと認識された場合、企業広告としては釣り道具に関する広告やアウトドア用品に関する広告が選択される。またイベント情報としては、釣り大会の情報や釣り場情報、釣り船情報などが選択される。この場合、例えば顧客の住所に応じてその住所の近隣地区の情報

が選択されることが好ましい。

【0031】

該画像検索又は画像認識する手段としては公知のものを利用することができる。具体的には、例えば特開平7-65169号公報、特開平11-238077号公報、特開平11-238078号公報が挙げられる。

【0032】

本発明において、蓄積された電子画像は、顧客からの蓄積解消の申し出を受け、場合によっては消去することができる。または、任意に設定された一定期間を経過した際に自動的に消去することができる。尚、任意に設定された期間が満了する前に、顧客に対して蓄積された電子画像を消去するか継続して蓄積するかを確認する事が好ましい。確認する手段は特に限定されないが、コンピューターにおいて期間の管理を行い、通信手段により自動的に顧客が指定した受信先に確認の送信を行うことが簡便であり好ましい。

【0033】

本発明の電子画像送信サービスは、顧客に対して有料であってもよいが、無料とすることによって集客効果を上げることができ好ましい。

【0034】

また、電子画像送信に前記付加情報を添付した場合、広告主やイベント主催者からの掲載料が得ることで顧客に対する電子画像送信サービスを無料とすることができる。掲載料は、定額でも良いし、前記企業広告、イベント情報の閲覧回数に応じて課金されても良い。付加情報が個々の画像毎に添付される場合、顧客が友人、知人、親戚などに電子画像を転送したり、電子メールに添付したりすることによって付加情報の閲覧回数を増加させることができ、閲覧回数に応じた課金方法が効果的であり好ましい。

【0035】

現像処理済の写真フィルム、該写真フィルムからのプリントは店頭にて顧客に返却するか、または郵便又は宅配便などの手段によって顧客の指定する場所へ配達するか、または、顧客の指定するコンビニエンスストアに配送する事ができる。

【0036】

【発明の効果】

本発明のサービスによって、顧客の希望する端末へ電子画像を送信することにより、顧客は電子画像を容易に入手することができ、デジタルカメラの使用、スキャナーなどによる画像の電子化のような煩雑なプロセスを経ることなく電子化された画像を有効に活用できる。更には顧客自身はもちろん、友人、知人、親戚などにおいても焼き増し注文等のサービスが容易に受けられる。

【0037】

更に、顧客情報の活用によって顧客に対して企業広告やイベント情報などの付加情報を提供できるといった幅広いサービスが可能となり、収益の拡大を図ることができる。よって、顧客には電子画像送信サービスを無償で行うことができる。

【0038】

【図面の簡単な説明】

【図1】

電子画像送信サービスの概念図

【図2】

顧客が個々に送信される電子画像を受信した例

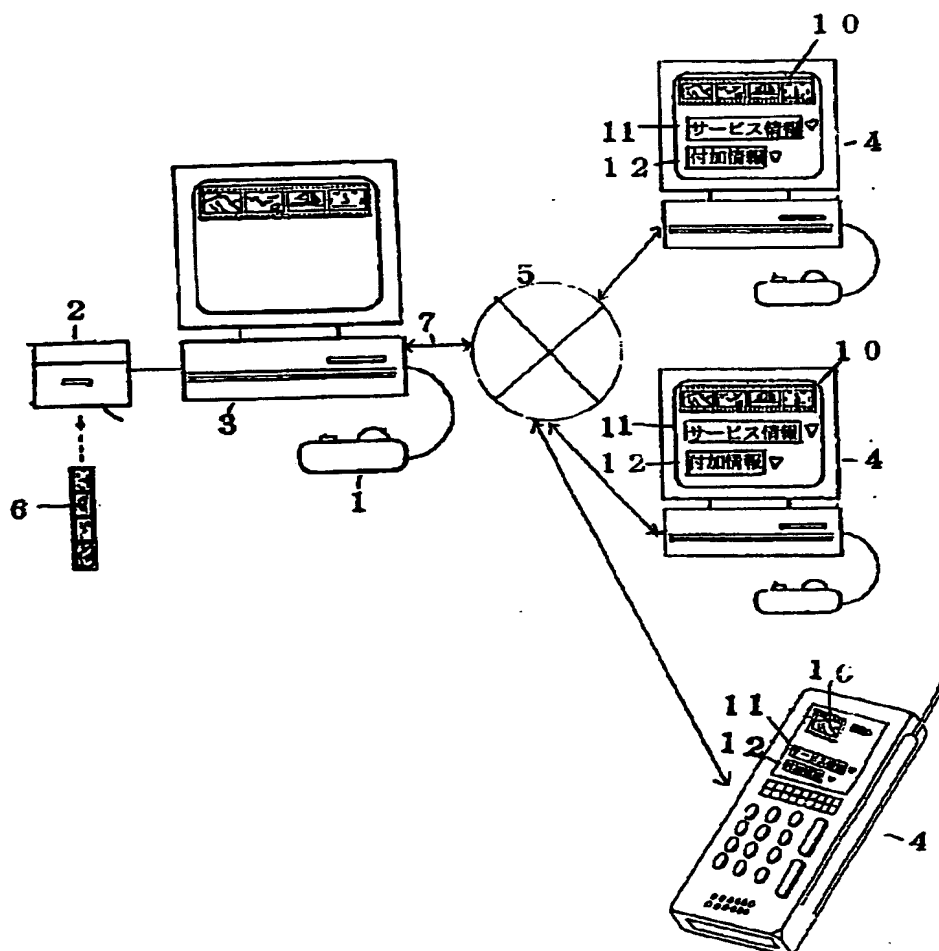
【符号の説明】

- 1 入力手段
- 2 変換手段
- 3 蓄積手段
- 4 受信端末
- 5 通信手段
- 6 現像済み写真フィルム又は該写真フィルムからのプリント
- 7 送信手段
- 10 電子画像
- 11 電子画像送信サービスに関する情報の欄
- 12 付加情報の欄

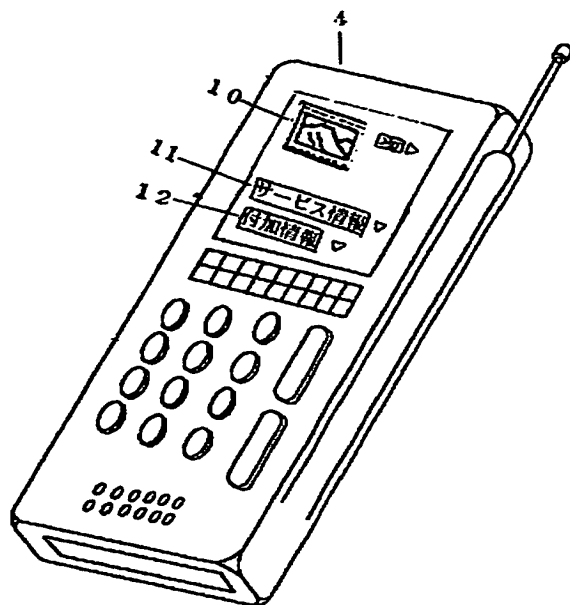
【書類名】

図面

【図1】



【図2】



【書類名】                    要約書

【要約】

【課題】                    ネガフィルムとプリントは得られるが、電子画像を欲しい場合は、自分で読み取り装置を購入して実施するか、現像所に依頼して電子画像データをCD等のメディアに書き込んでもらう必要があった。いずれも、費用がかかり、また電子画像データを利用するための操作が煩雑であった。

【解決手段】                撮影済み写真フィルムを現像処理した後に該現像処理された写真フィルム又は該写真フィルムからのプリントの画像を電子画像へ変換する変換手段、該変換手段により変換された電子画像を蓄積する蓄積手段、前記電子画像を通信手段を用いて顧客へ送信する送信手段、及び顧客情報入力手段を有する電子画像送信サービスであって、顧客が前記電子画像送信サービスを受けるか否かを選択した結果を前記顧客情報入力手段に入力し、顧客が前記電子画像送信サービスを受ける場合、該顧客が指定した受信先に前記電子画像を送信することを特徴とする電子画像送信サービス。

【選択図】                    図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-098292
受付番号	50000408974
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成12年 4月14日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年 3月31日
-------	-------------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001270]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
氏 名	コニカ株式会社